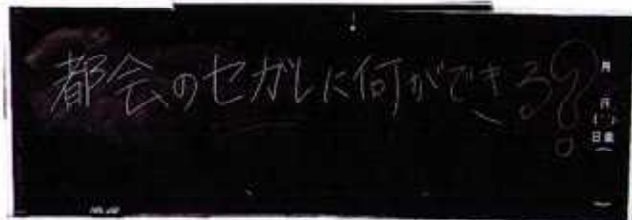


「オレの親父が作った」っていうストーリー、 想いをくっつけてモノを売ろうとしています。

農業ビジネスデザイン学部で出会い、メンバー3人全員が「農家を継がずに、東京で働く農家の息子(倅)」であったことから意気投合し結成された「セガレ」。実家で作られた農作物をイベントなどで、農家である実家に対する想いと共に販売している。農業への新しい関わり方を模索する彼らにインタビュー。

セガレ

(コダマミツシ、ナゴヤアツシ、ワタサワミノル)



—3人ともご実家が農家とのことですが、なにを作っているんですか？
ナゴヤー僕は実家が兵庫県で「ひのひかり」という米と「山田錦」という酒米、それと少量ですけど「丹波の黒豆」を作っています。今は親父が元気にやっているので、僕に対しては「お前は好きにやったらいい」みたいな感じです。
ワタサワー私の実家は山形で、主には「こしひかり」など米を作っています。他にはラフランスやさくらんぼです。うちも父が元気でやっていて、3人兄弟の一番上の兄と一緒にやっています。私は三男なので、同じく農業には関わらなくていいポジションです。



コダマー実家は長野で、アスパラガスとお米「こしひかり」を作っています。今、二人と同じで親父が元気にやっていますが、僕は二人と違って長男なんです。いつも悩みのなかで、東京で生きてます。—自分のなかで「農業」が大きな存在になったキッカケ、目覚めた瞬間はあったんでしょうか？

コダマー僕は大学で農学部だったんですけど、卒業してからは農業とは関係ないIT企業に勤めていました。でも、このままこの仕事続けていいのかなって非常に悩んでいて、それで、ふと思いついてみると、実家が農家だったので、小さい頃からまわりに農家とか田舎が満ちあふれていて、そういうことに触れていると安心するというか落ち着くというか。それに、友人を田舎に連れて行くと喜んでくれた経験もあって、自分が農家をやるよりも農業のいいところを味わった事がない人たちに伝えるようなことがしたいなと考えるようになりました。ワタサワー私もIT企業に勤めているんですが、農業はずっとキーワードとして僕のなかにありました。もちろん、自分で農作業することにも興味はあるのですが、ビジネスという視点でも興味があったんです。その時にスクーリングパッドの「農業ビジネスデザイン学部」は、なにかキッカケがつかめるんじゃないかと思って入りました。
ナゴヤー僕も今はIT系の仕事をしています。東京に出てきてからは5年目くらいなんですけど、東京に出てきたことで、実家を持っている魅力みたいなものを再発見できたんです。まわりの人にも「実家が農家」っていうだけでえらく反応

してくれるし、「農家」で会話は弾むし、なんだか誇りを持つようになったところがあります。

—日本の農業の環境や流れのなかでセガレが目指すことは？
ワタサワー業界にカッコいいスタイルが出てこない、やっぱりいい人が集まってこない、カッコよく見せるのがとても重要だと思いますね。そこで「セガレの生き方」みたいなのを提案していけたらいいなと。

ナゴヤー今まで、学部長の永島さんが定期的にやられている「青空市場」っていう朝市を含めてセガレで3度出店していて、他の出店はほとんど生産者の方が直接自分で作ったものを売っているのですが、僕らだけが、自分で作ってないから「一体お前ら何者だ？」みたいな感じになるんです。そこで「僕たち農家のセガレです」ってストーリーを話しながら売っています。セガレは「どこで採れた」とは言いますが、「オレの親父が作った」っていうストーリー、想いをくっつけてモノを売ろうとしています。市場でやっていると実感があるのですが、その売り方にはすごくアクションがあるんです。東京だからっていうのもあると思いますが、今までとは違った面白い焦点のあて方をして、盛り上げていけたらなって考えています。

コダマー僕は仕事をしていますが、なにかどこかで安心感があったんです。会社でハマってクビになったとしても、実家に帰れば、お米があるし、生きていけるなって。一緒に働いている人と比較すると「仕事無くなる＝生活が危ない」みたいな悲壮感があって、それで病んでしまったりする。農業って安心感を与えてくれる生きる担保みたいなもので、そのおかげで農業以外の事でも

充実した生活を送れてたんだっていうことに今となっては気づいてたんです。そこにみんなが気づいて、自分でも仕事の以外の時間は農業してみたいな生活を送れるようになれば、もっと良い社会になるかなって思います。

—これからセガレの活動はどんなひろがりを見せていくのでしょうか？

コダマー今までの活動で、僕たちに興味を持ってくださる方がいっぱいいたので、僕たちだけじゃなく、いろんな人が「セガレ」として活動してって世の中に発信していけたらというのがあります。農家だけでなく、漁師や木こり、職人のセガレもいるはずなので、そういう人たちとも一緒に発信していきたい。ワタサワーそれと同時に親の仕事を見直して、実は魅力的な仕事をしてたんだっていうことに気づいてもらいたいっていうのがあります。

コダマー親孝行が僕たちの原点なんです。幸いにもメンバーの親が健在なので、ありがたい。

ナゴヤー実家がなにかやっていて、「自分もなにか親の為にやりたい」って思っている人はたくさんいて、モチベーションも高いと思うんです。そういうセガレ的な視点で集まったコミュニティを作って、ひろげていきたいなあって思います。

www.segare.jp

